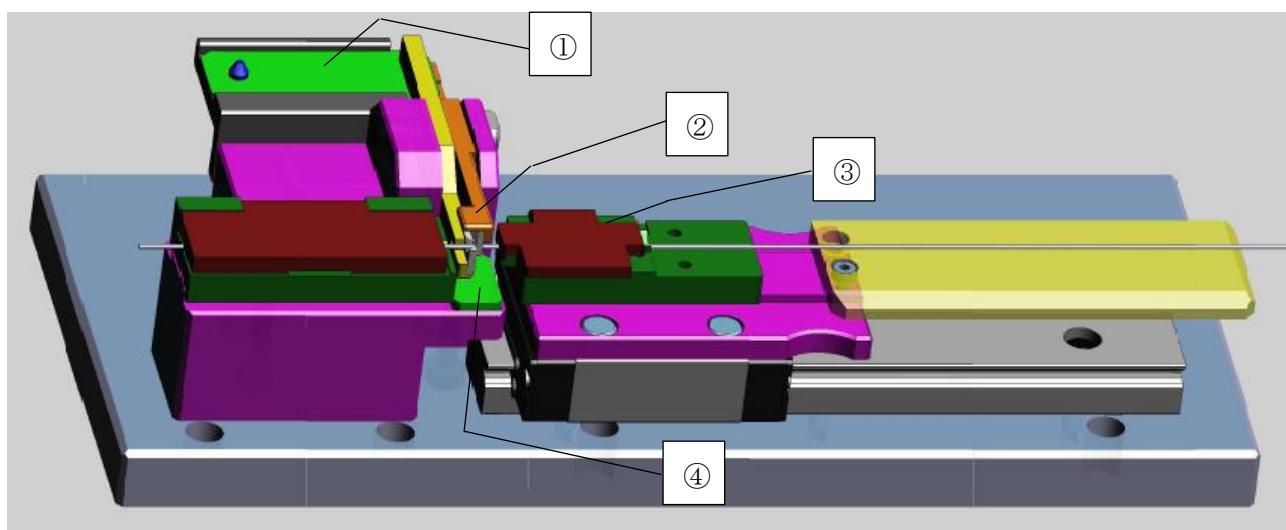


万能型光ファイバクリーバ QHS-1



QHS-1 外観図 (3D)

【特長】

❶なぜ製品化?: 2001年頃から様々な光ファイバを加工しておりますが、基本的な作業で有りながら最大の課題の一つとして「被覆剥き」が有りました。

光ファイバにはその用途により太さや被覆材質の種類が多い割に剥き具は海外製も含め「これだ!」と言えるものが有りませんでした。失敗が多く安心出来ないです。

通信用光ファイバはその多くがクラッド径 125 μm で被覆(コーティング)は UV アクリレートなので自動機が使え大量生産可能です。

一方医療用・環境機器用・等となると、太さも被覆も様々で種類も多い為自動機では段取り替えが多すぎて使えません。この点に非常に苦労させられました。

そこで、自社製を製作し、長年改良を加えてまいりました。研究所や大学様にも安心して使って頂けるレベルに達したと感じましたので、よりシンプルな構造にした上で発売に踏み切りました。

❷被覆剥きの万能性:

- 殆どの光ファイバの被覆(コーティング、0.05~1.5mm)の剥きが出来ます。

【参考】ポリイミド被覆は、弊社では強アルカリ薬液で処理しています。

- 刃の交換は摩耗しない限り不要です。

- 市販の安価な隙間ゲージ(シックネスゲージ)を①に取付ければ殆どの太さに適応出来ます。

- 市販のストリッパ(クリーバとも呼ばれます)より安心して剥くことが出来ます。

- 手動ですので、少量多品種の場合も段取り替えも楽です。

快適な IT 社会の実現に貢献します！ 光ファイバ接続関連専門メーカー

QUARTEC CORP.



株式会社カルテック ライコア事業部

〒509-0206 岐阜県可児市土田 1353-5

TEL /FAX 0574-27-3322 / 0574-28-1010

<https://www.quartec.co.jp>

- **操作が簡単:** 隙間ゲージ(シックネスゲージ、ホームセンター等でも販売)を①に乗せるだけでサイズ交換完了！ あとは②(上刃)を押して③(ファイバホルダ)を軽く右に引くだけです(女性の力で十分！)
 ※ガラスクラッドに傷が付くことが無く、樹脂クラッドにも影響なく剥くことが出来ます。
 ※シックネスゲージ厚み 0.005mm 等市販品にない特殊サイズもオプションで用意しています。
 ※④を違う厚みに交換することで、太い径 1,000 μm のファイバに対応できます。

- **他作業との連続性:** クリーブ(ファイバの劈開切断)や融着作業や光学測定などの作業と連続的に行えます。この場合、ファイバホルダ(※1)に光ファイバを取り付けての作業になります。
 そのまま融着作業や光学測定(※3)に移れます。
 ※1: 国内光ファイバメーカー品を使用出来ます。例えば、フジクラ製 FH-50-□□□(□は適用ファイバ外径)や古川電工製等。勿論弊社製 QFH5-□□□も使用可能です。特殊サイズ・特殊加工が必要な場合は、弊社製 QFH□-□□□-X(別途仕様打合せ要)をご用命下さい。
 ※2: 一般に日本国内では、ファイバカッターと呼ばれるものです。
 ※3: 弊社のベアファイバアダプタ QHK-1 と併用して下さい(製品紹介36を参照)。

—以下白紙—

快適な IT 社会の実現に貢献します！ 光ファイバ接続関連専門メーカー

QUARTEC CORP.



株式会社カルテック ライコア事業部

〒509-0206 岐阜県可児市土田 1353-5
 TEL /FAX 0574-27-3322 / 0574-28-1010
<https://www.quartec.co.jp>